1)経営者が知るべき日本の暗い将来と明るい処方箋~マインドセットを変える

- 1)マレーシア国立マラヤ大学医学部 デジタルヘルス&イノベーション教室 准教授
 - 2) 東京大学大学院医学系研究科 医療品質評価学講座 客員研究員
 - 3) 現住所:海岸寺(真言宗醍醐派)

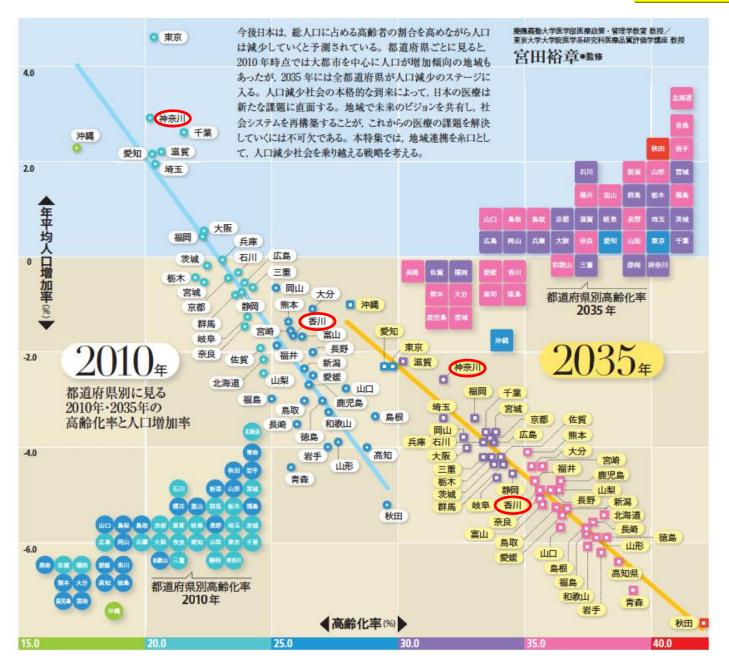
平原憲道



「地方」を考える際の恐怖の現実 ~ 【人口減少】



超高齢化、経済成長の鈍化だけではなく、それに<mark>人口減少</mark>を伴う



「少子化」・「高齢化」・「人口減少」の事実

都心に家が買える 満員電車が空いてくる 高速の渋滞がなくなる ...メリットは極めて短期間

『地方消滅』: 規模を維 持できない自治体が増え ていき、いずれ896もの 自治体が消滅の可能性 →「機能維持が超困難」



人口問題研究所所長。1951年兵庫県生ま

2040年以降、日本の場合 には高齢化率が40%に近 づく。100人のうち36人が 65歳以上になるが、そん な国は歴史上存在しない。

高齢者向けビジネスが潤 うかも知れないが、買う人 がいない(貯蓄を続ける)

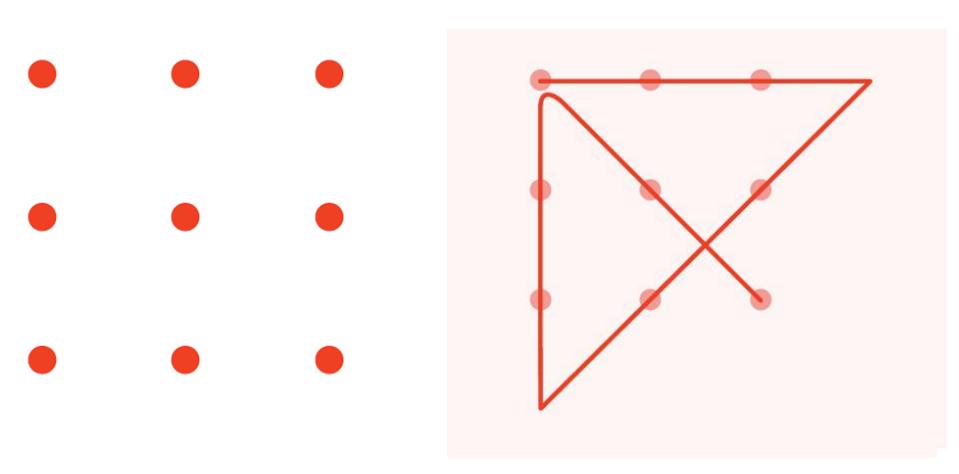
仕事につけない若い 世代との格差

『幸せな人生を送るには誰かの支えが必要』 高齢者には身近にサポートする人が不可欠



肝1 (問題空間) 差號場是世点 「漁の農園を山

•「9点問題」: 一筆書きで全点を通れ



スタートアップ人材はなぜエストニアに集まるのか

2019/7/11







2300を超える島を持つ美しい国

スウェーデン、ドイツ、ロシア(ソ連)と大国に占領され続けたタフな歴史を持つ。



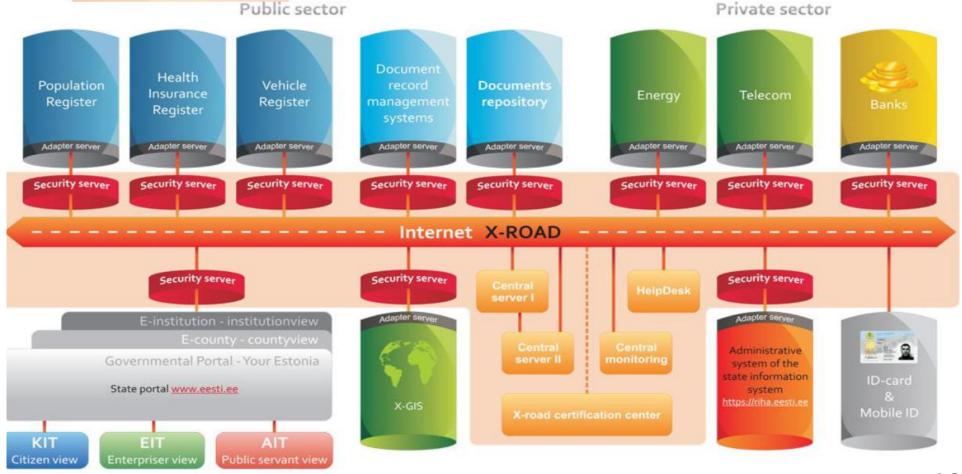


地球No.1の電子国家



全ての国民情報を強力なセキュリティで活用する X-Road









内閣会議室にも入れてもらう。書類を廃しパッド活用、全アジェンダを予習済み閣僚のみ入室可でリモート可。迅速会議を旨。

だが、 小国(人口130万)が歴史的に抱 える「人口問題」は健在

・ 厳しい冬(不凍港の地球最北端)に外 部からの「移住」はとても困難…





- そこで考えた、「定住は二の次」という発想。
- ・「自慢できる夏に来てもらう」・「腰掛け期間でも魅力」→ 短期就労ビザ創出&ノマドライフ整備

・ 結果、「世界中から優秀な人材」・「多拠点化の際の 選択肢」としてITベンチャー起業家へ魅力

「結果として(イノベーションエコシステムの中に)絡めればよい」 という戦略

「定住せんでOK」→電子国家&リモート王国→「コロナむしろ追い風」

2020年7月、エストニア政府はノマドワーカー・リモートワーカーを対象とした「デジタルノマドビザ」の発給開始を発表した。同ビザは数年前から構想段階にあり、同国のファンにとっては待望の制度だ。 https://forbesjapan.com/articles/detail/36006

対象となるのは、1. エストニア国外の企業の従業員、2. エストニア国外の企業の経営者、3. エストニア国外の企業に対してサービスを提供するフリーランス・コンサルタントのいずれかに該当する個人であり、条件としては、月収(額面)が3504ユーロ相当(約425000円)であること、そして遠隔からでも勤務できる職種であることが課されている。詳しくは政府公式WEBサイトを参照されたい。

これまでもエストニアのビザ制度として、事業者ビザ、雇用ビザなどはあったが、外国人がエストニア国外の事業を継続しながら移住する場合は、資本金を入れて法人を設立したり、厳しい審査を経てスタートアップ認定される必要(スタートアップビザ)などがあった。

その点、今回発表されたデジタルノマドビザは「ノマドワーカー・リモートワーカー」を明確に対象にしている点に特徴がある。つまり、国内で地方移住 してリモートワークをするのと同じように、日本からヨーロッパに移住してエストニアから仕事をすることが可能になるのだ。

夏の旧市街で一時的訪問者の心を鷲掴み!







「最高の記憶」と共に本宅へお帰り下さい。







夏はほとんど白夜なので皆さん1日に4回食事をして朝の2時までビール飲んでる。朝2時ごろに暗くなり始めて4時には日の出が来るという。

SWOT分析で議論のたたき台づくり

プラス要因

マイナス要因

内部環境

強み (Strength)



外部環境

機会 (Opportunity)



「『冬の問題』は『夏の 課題』にすり替え、 「『この国の人口問題』 を『あの国の人口』」で 解決しようとする戦略 的姿勢。「本妻になる」 ことを捨てると逆に本 妻を蹴落とせる好例。

F2 (ecosystem) で考えよ ~「全体として」勝つ



ASEANに市場。だが株式公開は NASDAQ → 「ecosystem」が理由

日本經濟新聞

オピニオン トップ 政治 テクノロジー

配車大手グラブ、過去最大のSPAC上場へ 評価額4.3兆円

+ フォローする アジアBiz

2021年4月13日 20:10 (2021年4月14日 5:32更新)





多様な観点からニュースを考える

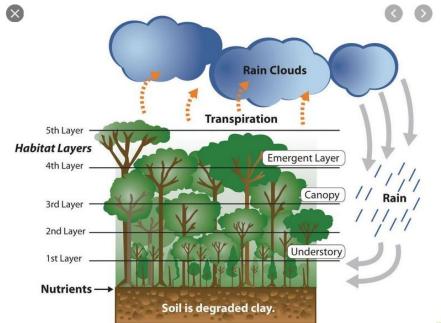






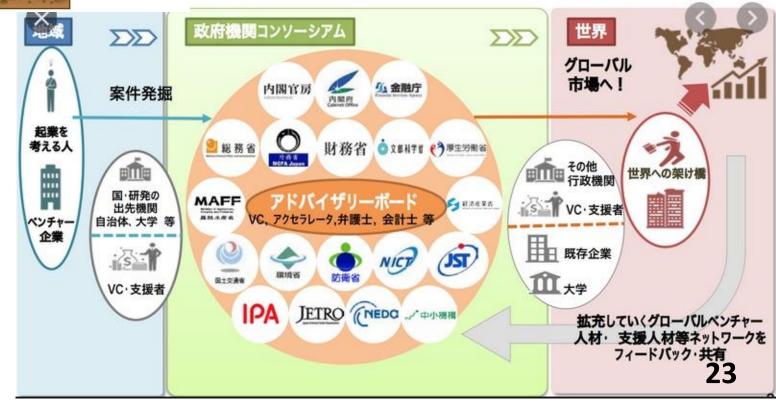




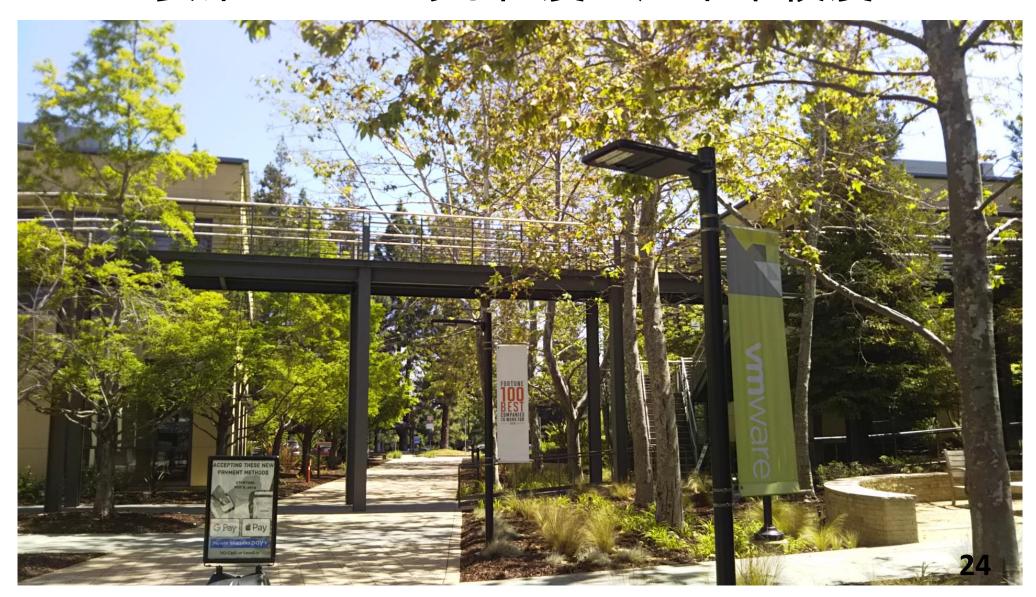


Ecosystemの説明

多くの説明が「同一ゴールへ向かって各機関が意識的に協働」と見えるが、本来は、「各生物が少々の協業意識ありつつも基本的に自律」して「結果として、勝手に巧く行く」がより正しい。



シリコンバレーのエコシステム 要素の1つ: ある程度の産業集積度



シリコンバレーのエコシステム 重大要素の1つ: 起業人材の豊富さ 多様性とダイナミズム



重大要素の1つ: 優秀な大学たち Stanford University



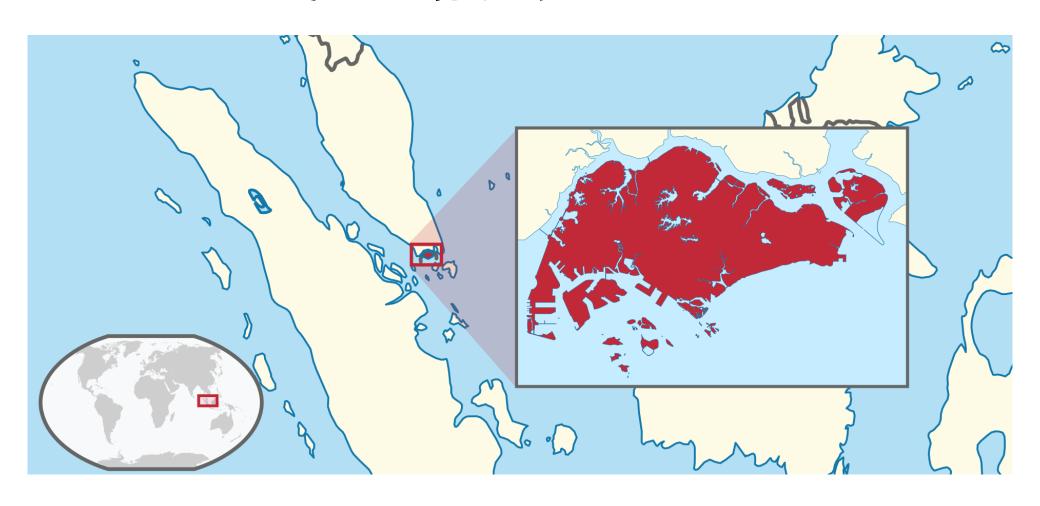
重大要素の1つ: 優秀な大学たち University of California, Berkeley



例えば多度津町の問題解決で、 「結果として『より広範囲のエコシ ステム』で勝てればよい」 という戦略

「交通の要所」が有意条件なら、 「ハブ」を目指すべき → X「たどりつく多度津」 → 〇「通り過ぎる多度津」

そんな場所あるのか?



土地も資源もないが豊かなシンガポール!